

伊勢湾貧酸素情報（第3報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

伊勢湾の底層では海水中の溶存酸素濃度が低下しており、三重県側を中心に広い範囲で2 mg/L以下の貧酸素水塊が形成されています。

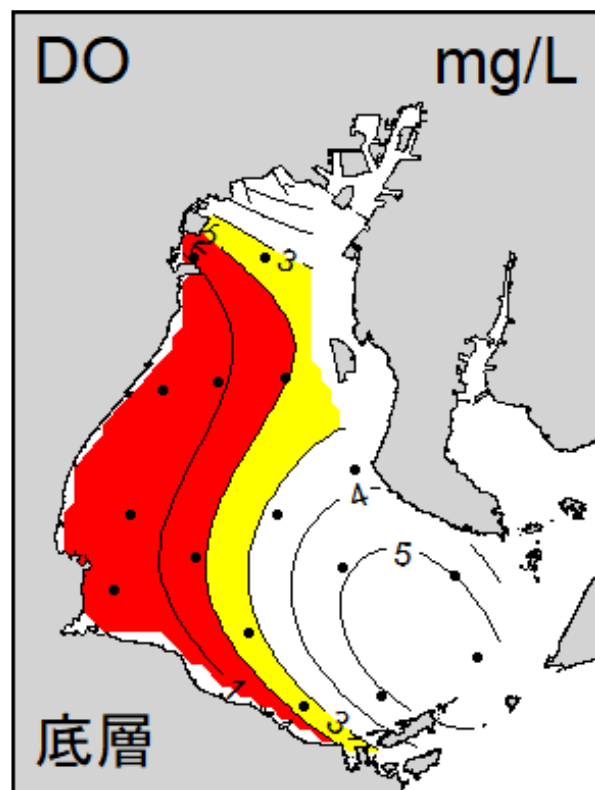
8月5日の調査結果

8月5日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で25.1～30.1℃、10mで19.9～23.1℃、底層で18.4～21.1℃の範囲にあり、表層は平年よりやや高め、10mは平年よりかなり低め、底層は平年より低めとなっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で6.0～8.1 mg/L、10mで0.2～5.4 mg/L、底層で0.1～5.5 mg/Lの範囲にあり、表層及び10mは平年よりやや低め、底層は平年よりやや高めとなっていました。

底層では先月に引き続き広い範囲で2 mg/L以下の貧酸素水塊が形成されています。

今後も貧酸素水塊に注意した操業を心掛けてください。



底層貧酸素水塊分布図